

第52回大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会 小学校部会
「子どもたちが作るパスファインダーと読書感想画の指導
～情報活用能力の育成と主体的な学をめざして～」

1. パスファインダー

○パスファインダーって？

- ・特定のテーマに関する資料や情報を収集する手順を簡単にまとめたリーフレット

○パスファインダー作成のねらい

- ・テーマについて大まかに知ることができる。
- ・テーマから、検索するキーワードを考えることができる。
- ・キーワードにそった本を選ぶことができる。

○気づき

- ・キーワードを考えるのが大変
- ・「おおまかに知る＝図鑑」の理解が難しい
- ・読み聞かせがここで生きる

2. 読書感想画

○いろいろな表現方法を知る

- ・塗り方、画材の指導
「ゴツゴツぬり」「点々ぬり」「にじみぬり」「スパッタリング」「スタンプング」
「コンテパステル」「混色」「マーブリング」「混色と点描」など

○とりくみの過程

- ・あらすじを捉える
(情報を増やす、想像を膨らませる)
- ・感想の中心を一言で
(「きらわれものだってできるぞ」)

○個別への支援

- ・見本を見せる。
- ・学校図書館を利用する。(テーマごとに付箋に絵をかく。)
- ・付箋のレンタルシステム。
- ・猫の動きのある本を集めておく。
- ・塗り方の参考になる本を見つけておく。

3. まとめ

○学校図書館の役割として

- ・読書センター・・・読書感想画
 - ・学習センター・・・パスファインダー
 - ・情報センター・・・パスファインダー
-) として活用していた。

○感じたこと

情報センターとしての学校図書館に着目し、情報を活用できる子を目指して続けていきたい。